



Saica NEWS

Saitama international cooperation action News

2020
Vol.2



2021年度 国際協力推進事業の見通し



2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた職員派遣・研修生受入のほとんどが実施できませんでした。JICA技術協力プロジェクト(MaWaSU2)の長期専門家派遣は継続することができました。

2021年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、JICA等関係者と入念に調整を図って事業を実施していきます。



MaWaSU2 水道教室での集合写真(カムアン県)
2020年10月15日

①JICA技術協力プロジェクト(MaWaSU2)

- ・長期専門家(チーフアドバイザー)
2021年5月20日で経営企画課 園田主任の派遣が終了するため、2021年5月8日から後任の専門家を派遣予定。
- ・短期専門家(水質又は土木) ※最大3ヶ月×2名
ラオス入国後、日本帰国後の2週間隔離措置解除後に派遣開始予定。
- ・本邦研修受入
2022年1月予定(水質)

②JICA草の根技術協力事業

ラオス入国後、日本帰国後の2週間隔離措置解除後に職員派遣を開始予定。

③ラオス国水道公社との覚書(更新)締結

現覚書が2021年12月に満了することから、引き続き、当局のラオス国への水道分野の協力の方向性を示すため、有効期間を5年とする覚書(更新)を2021年12月に締結予定。



JICA技術協力プロジェクト(水道分野)の実施状況

現在、水道事業者等が参画するJICA技術協力プロジェクト(水道分野)は4件実施されています。全てのプロジェクトにおいて、昨年より新型コロナウイルス感染症の影響を受けていますが、当局が参画しているラオスでは、新型コロナウイルス感染者数が現時点で49名とかなり低いレベルに抑えられていることもあり、2020年4月上旬から避難一時帰国していた長期専門家3名は11月には全員がラオスに帰任し、プロジェクト活動を本格的に再開しています。

国名、人口※1	案件名、期間	関係団体	新型コロナウイルス感染者数(死者数)※2	感染症危険レベル※3
ラオス 701万人(2018年)	水道事業運営管理能力向上プロジェクト(MaWaSU2) (2018年5月～2023年5月)	さいたま市水道局 川崎市上下水道局 埼玉県企業局 横浜市水道局	49 (0)	レベル2 (不要不急 渡航中止)
マラウイ 1,862万人(2019年)	リロングウェ市無収水対策能力強化プロジェクト (2019年6月～2023年6月)	横浜市水道局	33,237 (1,096)	レベル3 (渡航中止)
スリランカ 2,103万人(2016年)	国家上下水道公社西部州南部地域事業運営管理能力プロジェクト (2018年9月～2021年8月)	名古屋市上下水道局 神戸市水道局	90,200 (546)	レベル2 (不要不急 渡航中止)
カンボジア 1,630万人(2018年)	水道行政管理能力向上プロジェクト (2018年7月～2022年7月)	厚生労働省 北九州市上下水道局	1,753 (3)	レベル2 (不要不急 渡航中止)

2021年3月23日時点

出典：※1 外務省HP(各国基礎データ)、※2 WHO COVID-19 Dashboard、※3 外務省海外安全HP(海外安全情報)

- JICA技術協力プロジェクト(MaWaSU2)、JICA草の根技術協力事業の詳細は
JICA(MaWaSU2) ⇒ <https://www.jica.go.jp/project/laos/023/index.html>
JICA草の根 ⇒ <https://www.city.saitama.jp/001/006/002/034/001/p063565.html>



発行：さいたま市水道局
業務部経営企画課経営企画係
TEL 048-714-3185